学校教育目標 「地域に誇れる　地域が誇れる加茂小の子　～自分よし　相手よし　みんなよし～」

令和８年度重点目標『やってみよう』

加茂小だより

令和８年度

９月号

「やってみよう」で加茂小の自慢をつくろう

【8 月 31 日(月)2 学期始業式　校長の話】

２学期も、今の自分より少し前だけに進んで「やってみよう」自分が「よい」と思うことを「やってみよう」
一人では難しいことはみんなと一緒に「やってみよう」
みんなでやった方が楽しいことはみんなと一緒に「やってみよう」
みんなの「やってみよう」で自分も相手も、そしてみんなが笑顔の加茂小にしよう
もっと過ごしやすい加茂小にするために、学級で、学年で、委員会で「やってみよう」
みんなの「やってみよう」がたくさん集まれば、加茂小はもっと笑顔がいっぱいの学校になります。そんなみなさんの挑戦する姿こそが、加茂小の一番の「自慢」になります。
「やってみよう」が自慢の加茂小をみんなで一緒につくっていきましょう。
７７日間の２学期、みなさんのたくさんの「やってみよう」を楽しみにしています。

早速、校内のいろいろな所で子供たちの「やってみよう」に出会いました。

３年生の目標カードには「運動会のリレーで助け合って勝ちたいから、日頃から助け合いたい」「楽しいクラスにするために、休み時間は友達と遊んで相手も笑顔にしたい」など相手を思いやる温かな「やってみよう」がたくさんありました。

８時には１年生も全員がシーンと読書をしています。学習委員会、保健委員会はサマー日課中の活動について相談をして、金曜日の朝に活動をしています。

５年生の算数の授業では、課題を解決しようと一人一人が今までに学んだ方法を元にじっくり考えていました。友達と一緒に考え「わかった」と目を輝かせてつぶやく姿、「そういうことか」と納得し、自分の考えを深める姿もありました。

ひまわり・たんぽぽ学級の「きらほかの木」にたくさんのきらほかの星が輝き始めています。

２学期も「やってみよう」を合い言葉に、子供たち一人一人の成長と、仲間とともに高まり合う集団づくりを、個と集団の両面から支えてまいります。引き続き、教育活動への御理解・御協力、子供たちへの温かい見守りをどうぞよろしくお願いいたします。

（校長　板倉　真里）